

(平成23年9月分)

部 門	市況の概要
野 菜	9月期の野菜の入荷状況は、生育期の天候不順や台風等の影響により、多くの品目で作柄不良がみられたものの、入荷量は、品目により様々で、前年の入荷が少なかったハウレンソウ、トマト、バレイショや中央集散機能の発揮がみられたキャベツでは、入荷増となった。全体の入荷量は、前年同期並みとなった。 価格は、品目により様々で、入荷減となった多くの品目で、単価高となった。特に、長ダイコン、ハクサイ、レタスでは、全国的な品薄状態から高値となった。一方、入荷増となった多くの品目では、前年単価高であったこともあり、単価安となった。野菜全体では、前年同期を4%下回った。 品目別には、ハクサイが入荷増の単価高、キャベツ、ハウレンソウ、トマト、バレイショが入荷増の単価安、西洋ニンジン、ピーマン、タマネギが入荷並の単価安、長ダイコン、レタス、キュウリ、ナスが入荷減の単価高となった。 根菜類は、入荷、価格ともに、前年同期並みとなった。 葉菜類は、入荷が4%減少し、価格は4%安となった。 果菜類は、入荷が16%増加し、価格は13%安となった。 土物類は、入荷が4%増加し、価格は13%安となった。
果 実	9月期の果実の入荷状況は、天候不順の影響から柑橘類、リンゴ類、ブドウ類で作柄不良がみられ、入荷減となった。また、メロン類は、作付面積の減少から入荷減となった。一方、目立った気象被害のなかった梨類、柿類は、入荷増となった。全体の入荷量は、前年同期を6%上回った。 価格は、多くの品目で前年単価高であったことから、メロン類を除いて、単価安となった。果実全体としては、前年同期を20%下回った。 品目別には、豊水梨、二十世紀梨、刀根・平核柿が入荷増の単価安、津軽リンゴが入荷並の単価安、アールスメロンが入荷減の単価並み、ミカン、巨峰が入荷減の単価安となった。 柑橘類は、入荷が13%減少し、価格は3%安となった。 リンゴ類は、入荷が8%減少し、価格は18%安となった。 梨類は、入荷が26%増加し、価格は30%安となった。 柿類は、入荷が107%増加し、価格は20%安となった。 ブドウ類は、入荷が8%減少し、価格は3%安となった。 メロン類は、入荷が7%減少し、価格は13%安となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長ダイコン	北海道を中心に、青森県、岩手県、兵庫県、新潟県からの入荷。 主力の北海道産で生育期の天候不順により、肥大不足等の生育不良がみられた。全体の入荷量は、前年同期を3%下回った。 価格は、全国的な品薄状態から前年同期を11%上回った。
西洋ニンジン	北海道を中心に、中国からの入荷。 主力の北海道で、生育期の天候不順により作柄不良がみられた。全体の入荷量は、入荷の少なかった前年同期並みとなった。 価格は、下位等級の入荷が多かったことから前年同期を25%下回った。
【葉菜類】	
ハクサイ	長野県を中心に、北海道からの入荷。 主力の長野県産で、台風の影響から作柄不良がみられたものの、中央集散機能の発揮により前年同期を9%上回った。 価格は、全国的な品薄状態から前年同期を4%上回った。
キャベツ	群馬県を中心に、長野県、北海道からの入荷。 主力の群馬県産では、台風の影響から入荷減となったものの、北海道産の入荷が順調であったことから、前年同期を5%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を7%下回った。
ハウレンソウ	岐阜県を中心に、和歌山県、北海道、滋賀県、茨城県からの入荷。主力の岐阜県産で、下旬以降の低温の影響から生育の遅れがみられたものの、前年の入荷が少なかったことから全体の入荷量は、前年同期を33%上回った。 価格は、入荷増であったことから前年同期を6%下回った。
レタス	長野県を中心に、北海道、茨城県からの入荷。 主力の長野県で、生育期の天候不順により作柄不良がみられ、全体の入荷量は、前年同期を42%下回った。 価格は、入荷減であったことまた、全国的な品薄状態から前年同期を50%上回った。
【果菜類】	
キュウリ	福島県、北海道を中心に、京都府、滋賀県、愛媛県からの入荷。 各産地ともに下旬以降の低温の影響から、作柄不良がみられた。全体の入荷量は、前年同期を9%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を16%上回った。
ナス	京都府を中心に、徳島県、高知県、奈良県、岐阜県からの入荷。主力の京都府産で、下旬以降の低温の影響から、花落ちや病害虫の発生がみられた。全体の入荷量は、前年同期を16%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を4%上回った。

トマト	岐阜県，北海道を中心に，茨城県，京都府，滋賀県からの入荷。 各産地ともに下旬以降の低温の影響から，作柄不良がみられたものの，前年の入荷量が著しく少なかったことから，前年同期を22%上回った。 価格は，入荷増により前年同期を15%下回った。
ピーマン	茨城県，大分県を中心に，兵庫県からの入荷。 各産地ともに下旬以降の低温の影響から肥大不良などの作柄不良がみられたものの，前年の入荷量が少なかったことから，前年同期並みとなった。 価格は，前年が単価高であったことから，前年同期を19%下回った。
【土物類】 バレイショ （メイク含む）	北海道を中心に，青森県からの入荷。 主力の北海道産で，収穫時期の長雨と台風の影響から出荷の遅れがみられたもの，前年の入荷が少なかったことから，前年同期を3%上回った。 価格は，入荷増であったこと，また前年が単価高であったことから前年同期を21%下回った。
タマネギ	北海道を中心に，兵庫県，京都府，中国からの入荷。 主力の北海道産で，天候不順の影響から収穫の遅れがみられたものの，全体の入荷量は，前年の入荷が少なかったことから，前年同期並みとなった。 価格は，前年が単価高であったことから，前年同期を12%下回った。
【その他野菜】 松茸	中国を中心に，カナダ，メキシコ，韓国，長野県からの入荷。 中国産，韓国産で，干ばつの影響から発生が悪く，全体の入荷量は，前年同期を35%下回った。 価格は，入荷減であったことから前年同期を62%上回った。
栗	愛媛県を中心に，京都府，茨城県，熊本県，島根県からの入荷。 各産地とも，台風の影響から出荷が遅れた。全体の入荷量は，前年同期を5%下回った。 価格は，入荷減により前年同期を11%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	宮崎県を中心に、福岡県、和歌山県、熊本県、佐賀県からの入荷。各産地ともに春先の低温や9月の降雨の影響から作柄不良がみられたことから、入荷量は、前年同期を23%下回った。 価格は、入荷減であったものの前年が著しい単価高であったことから、前年同期を11%下回った。
津軽 （サン含む）	青森県を中心に、長野県、岩手県、山形県からの入荷。 各産地とも生育期の天候不順の影響から小玉傾向での入荷となった。入荷量は、入荷の少なかった前年同期並みとなった。 価格は、下位等級の入荷が多くまた、前年が単価高であったことから、前年同期を20%下回った。
豊水梨	長野県を中心に、富山県、徳島県、福島県、滋賀県からの入荷。 各産地とも、目立った気象被害はなく、作柄良好であった。入荷量は、前年が不作であったことから、前年同期を11%上回った。 価格は、入荷増であったことまた、前年が単価高であったことから、前年同期を28%下回った。
二十世紀梨	鳥取県を中心に、長野県、京都府からの入荷。 各産地とも、目立った気象被害はなく、作柄良好であった。入荷量は、前年が不作であったことから、前年同期を38%上回った。 価格は、入荷増であったことまた、前年が単価高であったことから、前年同期を33%下回った。
刀根・平核無柿	和歌山県を中心に、奈良県からの入荷。 主力の和歌山県産では、台風による大きな被害もなく、順調な入荷となった。前年の入荷が著しく少なかったことから、前年同期を103%上回った。 価格は、入荷増であったことまた、前年が単価高であったことから、前年同期を20%下回った。
巨峰	長野県を中心に、山梨県、福岡県からの入荷。 主力の長野県産で、生育期の天候不順から小房傾向で入荷となった。全体の入荷量は、前年同期を12%下回った。 価格は、下位等級の入荷が多くまた、前年が単価高であったことから、前年同期を5%下回った。
アールスメロン	茨城県を中心に、静岡県、石川県、長野県からの入荷。 各産地とも作付面積が減少しており、全体の入荷量は、前年同期を30%下回った。 価格は、前年同期並みであった。